

いいたて
便利📷

8/7 おすもうって楽しいね!

福島市で夏合宿中の荒汐部屋による「すもう部屋体験」が、福島市すもう場で開かれました。福島ライオンズクラブの「子どもの元気アップ事業」の一環。村と、双大竜関の母校・蓬萊小学校から、希望者 33人が招待されました。参加者は稽古を見学した後すもうを体験。手作りのちゃんこも味わいました。菅野統矢さん(飯樋小4年)は「すもうは押すのが面白かった」と笑顔を見せていました。



▲子どもたちは数人ずつで、蒼国来関、双大竜関、福轟力(ふくごうりき)と対戦(写真右は双大竜関)



▲視察をしながら規制強化の影響等について意見交換

8/7 交通事故多発エリアで現場視察

震災以降、交通量が増大している県道原町・川俣線。特に深谷地区の「追い越しのための右側部分はみ出し禁止」規制がない 1.4 kmとその前後では、交通事故が多発しており、平成 23 年から今年 7 月までに 38 件の事故が発生しています。

この日は南相馬警察署から青田勝則署長らが現地を訪れ、管内の交通安全関係者と共に視察を行い、村役場本庁で意見を交わしました。現地確認の成果は今後の対策に活かされます。

離れても、ふるさとでつながっている

村の子どもたちが、大玉村の「フォレストパークあだたら」に集い、バーベキューや夏祭りを楽しむ「いいたてっ子同窓会」が開かれました。この事業は福島大学「うつくしまふくしま未来支援センター」等の支援によるもので、村の小中学校や県内外の避難先から 46 人が参加。同行した保護者も「同じ気持ちのお母さんたちと話すとはっとします」と再会のひとときをかみしめていました。



▲久しぶりでも仲良し。木片で作ったカブトムシを手に



▲菓子や漬物など、手をかけた自慢の商品を販売

8/10 「夏フェスタ IN そうま」に出展

相馬光陽サッカー場で開催された「夏フェスタ IN そうま」の「ふるさと交流ブース」に村も出展し、「かーちゃんの力・プロジェクト協議会」の加工食品を販売。近隣市町村のブースと軒を連ねて、来場者と交流しながら商品を PR しました。村のブースには、相馬市周辺に避難する村民も購入に立ち寄り、試食用の商品を味わったりしながら、会話をはずませしていました。

7/30 有害鳥獣捕獲隊の射撃訓練

「有害鳥獣捕獲隊(阿部定宣隊長)」の隊員は、それぞれの避難先から交代で村内に通い、パトロールや捕獲活動を行っています。

この日は隊員が集合して射撃訓練を行いました。これは例年行われている訓練で、昨年に引き続き福島市のクレー射撃場で実施されました。的はクレーと呼ばれる素焼きの円盤。隊員は、真剣な表情で射出されるクレーを狙い、射撃の感覚を確かめていました。



▲捕獲隊のオレンジ色のベストを着用して



▲(左から)中野選手と、菅野選手。村長と固い握手

7/31 高校総体での活躍を誓って

長崎県諫早市で行われる全国高等学校総合体育大会に出場する 2 選手が飯野出張所を訪れました。2 人は共に川俣高校ウェイトリフティング部所属の 3 年生。避難先から学校へ向かう途中に立ち寄り、中野直樹選手は「少しでも高い表彰台を目指したい」、菅野昌美選手は「自己ベストを出したい」と抱負を語りました。

同大会では 8 月 3 日に、中野選手が全国 2 位の成績を収めたということです。

飯野の皆さんの支援を実感「復興祭」

飯野出張所に程近い商店街で「第 35 回 飯野 UFO ストリート歩行者天国 “がんばっぺ! ホコ天” 飯館・飯野復興祭」が行われました。イベント広場のステージでは、地元団体の発表に交じって、「飯館フラクラブ」がフラダンスを、「いいたて愛」がヨサコイ踊りを披露して参加。村商工会も金魚すくいのコーナーを設けて、日頃お世話になっている飯野地区の皆さんと共に祭りを楽しみました。



▲子どもたちに大人気。金魚すくい。真剣です



▲夏休み中の兄弟姉妹も一緒に楽しみました

8/5 わくわくだね! 保育所の夏祭り

やまゆり保育所で、親子で楽しむ夏祭りの会が開かれました。本物そっくりで作った紙工作のチョコバナナやアイス、毛糸の焼きそばは実においしそう! 屋台には、はっぴを着た笑顔の先生たちです。そして冷たいかき氷は本物♪子どもたちは浴衣や甚平で屋台をめぐり、目をキラキラさせて買い物ごっこをしたり、魚釣りや的当てのゲームをしたりして、手作りのお祭りを満喫しました。